

11 インドネシア

スラバヤ都市圏通信網整備事業(第1期)(第2期)



本事業により整備された光伝送路システム

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	11,032百万円 / 10,681百万円
借 款 契 約 調 印	1992年10月 / 1993年11月
借 款 契 約 条 件	金利2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	2000年11月 / 2000年12月

[事 業 概 要]

スラバヤ及びその周辺都市を含むスラバヤ首都圏において、ジャカルタとの通信事情の格差を解消し、地域開発のための手段として通信網の整備、拡大を図るもの。

[評 価 結 果]

本事業により、市内交換機、市内伝送路、市外伝送路、遠隔地通信網、加入者ケーブルが新設/増設され、スラバヤ都市圏及び同都市圏を含む東ジャワ州における電話容量及び利用回線数は格段に増加した。この結果、通話完了率は、事業実施前の25.3%より事業実施後には、74.6%に改善しており、サービス信頼度は大幅に向上した。また100人当たりの電話普及率は、事業実施前は、1.4であったが、事業実施後、ジャカルタ首都圏と同水準の7.7に向上しており、本事業は、同首都圏とのサービス格差解消に貢献したと評価できる。さらに本事業による通信網の整備・拡大により、地域住民の生活の利便性が向上し、都市圏の経済活動の活性化と地域開発の促進に貢献した。

供与された通信施設は適切に運用・保守されており、事業の持続性に特段の問題はない。